

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233132112	道徳教育の理論と実践 Theory of moral education	石川 雅春			2	選択	3後期
<b>科目の概要</b>							
管理栄養学科のDP①、目標「日常生活の健康面を支援することのできる人材育成」を受け、小中学校・教育センターにおける道徳研究の実践・全国各地での研修講師の経験を活かし、「道徳教育の理論と歴史理論を理解し、それを活用した指導案作成、模擬授業による授業構成の探究」等の学修を展開する。講義・演習を通して道徳教育がねらう「自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に、自立した人間として他者と共によりよく生きる人間形成」の在り方を修得する。また、この科目はその後に履修する教育実習の基盤となる科目である。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 道徳教育の本質・目標を学び、道徳教育の重要性を理解したうえで、道徳の師範授業を受ける。 ② 学習指導要領解説道徳を理解したうえで、指導計画・授業設計・指導方法・評価を学び、それを生かした授業作りの基礎（指導案の書き方）を学ぶ。 ③ ②で学んだことを生かし、発達段階を踏まえた道徳科の授業を想定して指導案を作成し、模擬授業をする。				① 道徳教育の本質・目標、道徳教育の重要性を理解し説明できる。 ② 学習指導要領解説道徳を踏まえた授業作りの基礎を活用して、道徳の授業の指導案を立案することができる。 ③ ①②を活用し、発達段階を踏まえた模擬授業の探究を通して、よりよい授業に向けての課題を解決をすることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	教職を目指し、道徳の授業を進めるうえで必要なことについて、図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	教職に就くという目標や、出題された課題に向かって、くじけずやり切ることができる。					
考え抜く力	課題発見力						
	計画力	教職を目指し、道徳の授業を進めるうえでの課題について、客観的に整理し、見極めることができる。					
	創造力	教職を目指し、道徳の授業を進めるにあたり、よりよい授業展開の在り方を様々な立場から考え、指導案を作成することができる。					
チームで働く力	発信力	教職を目指し、道徳の授業を進めるにあたり、子供に分かりやすく伝えるために必要な「留意点を的確な文章で伝えたり、発表したりすること」ができる。					
	傾聴力	教職を目指すにあたり必要な「子供に最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	教職を目指すにあたり必要な「子供に最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編(文部科学省) オープンエデュケーション：「特別の教科 道徳」アーカイブ(文部科学省) <a href="https://doutoku.mext.go.jp/">https://doutoku.mext.go.jp/</a>							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
この科目はその後に履修する教育実習指導・教育実習の基盤となる科目である。 ・資格との関連：栄養教諭1種免許							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・絶対に教職に就くという強い意志をもち続け、学修したことを学校現場で絶対に生かすという決意で、深い学びをしてほしい。				① 遅刻2回を欠席1回に換算する。 ② 授業開始から30分以降は欠席とする。 ③ 授業中に私語が著しい場合は退席、欠席扱いとする。 ④ 教員が許可する以外授業中の携帯使用禁止とする。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	40	①	✓	・道徳教育の本質、目標、道徳教育用語を理解できる。(第1～3週で扱った内容から、語句の穴埋めや用語の説明について、出題する。特に、道徳教育の目標は頭に入れてくること。小テストはGoogleクラスルーム formsで行う。40点満点(素点)
				②		
				③		
		レポート	25	①		・道徳のよりよい授業を考え、そのための指導案を提出できる。(A 4サイズ2枚まで、ねらいが達成できると考えられる指導案であること) 25点ABC 3段階評価(25点・20点・15点)。ドキュメントでGoogleクラスルームに提出する。
				②	✓	
③						
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		25	①		・指導案を基に、模擬授業をすることができる。(表現の仕方・説明の分かりやすさ・独自性並びに教師の説話を重点的に評価する) 25点ABC 3段階評価(25点・20点・15点)	
			②			
	③		✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 (実行力) 指導案作成に積極的に取り組むことができる。 (課題発見力) 立案した指導案の課題を発見し、修正することができる。 (創造力) よりよい授業にするために、様々な面から指導案を検討することができる。 (発信力) 模擬授業で分かりやすく発信することができる。 (傾聴力) 発表に対して、自分の意見を返答することができる。 (規律性) 自分自身に厳しくルールを課すことができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・道徳の目標等理論部分について、小テストで30点以上とれる。</p> <p>・ねらいが達成でき、楽しく学べる指導案を作成することができる。</p> <p>・ねらいが明確な分かりやすい模擬授業をすることができる。 (小テスト36点以上・他がすべてAを上回る内容であればSとする)</p>	<p>・道徳の目標等理論部分について、小テストで24点以上とれる。</p> <p>・ねらいが達成できる指導案を作成することができる。</p> <p>・分かりやすい模擬授業をすることができる。</p> <p>※レベルBを満たしていない発表・指導案、又は提出遅れはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業概要・授業のルール・評価方法を理解する。 ・学習指導要領に示された道徳教育の本質、目標、主な内容や道徳教育用語を理解する。	・講義 ・PP：これまでに受けてきた道徳授業の調査を行う。 ・ワークシート (classroomドキュメント)：学級経営との関連について理解する。	・道徳教育の本質/目標/主な内容について、説明できるように、整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習)学泉ノートを読んで理解してくる。  (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
2	・教育における道徳の位置づけ 知・徳・体の「徳」の中で、何を優先すべきか考える。	・講義(classroomドキュメント) ・ワークシート	・知・徳・体の中で、何を優先すべきかについて自分の考えを整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習)参考文献を見つけ教育とは何かを考えてくる。  (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
3	・道徳性とは 道徳的な判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と道徳的態度の意味について理解する。	・講義、ワークシート(classroomドキュメント) ・道徳的態度の意味を端的に表現した動画を視聴する(心得)	・道徳性とは何かについて整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習)学習指導要領を読んでくる。  (復習)小テストに向けてこれまでのワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習しておく	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
4	・道徳の授業創りの基礎Ⅰ 道徳の指導計画・指導方法を学ぶ。そのうえで、道徳の指導過程「方向付け-教材提示-基本発問-中心発問-把握の発問-道徳的価値の自覚-終末」の意味を理解する。	・小テスト(1~3週の内容 45分)小テストはGoogleクラスルームformsまたは、プリントで行う。 ・講義・ワークシート(classroomドキュメント) ・確認テストのフィードバック	・小テストで、24点以上とれる。  ・道徳の指導計画/指導方法を整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習)小テストの想定問題を予想し、理解してくる  (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
5	・道徳の授業創りの基礎Ⅱ(教員による師範授業) 道徳的価値の解釈の方法、道徳的諸価値(内容項目)、道徳の授業で扱う教材解釈の方法を知る。	・グループ討議：考えを分かりやすく相手に伝える(発信力)。 家族愛の捉えをグループ討議し、考えをレポート(classroomドキュメント)にまとめる。(傾聴力・課題発見力) ・講義：「窓ガラスと魚」の解釈をする。	レポート(classroomドキュメント)を作成し、期日までに提出できる。	(予習)家族愛とは何か自分の考えをまとめておく。オープンエデュケーション：「特別の教科 道徳」アーカイブ(文部科学省) <a href="https://doutoku.mext.go.jp/">https://doutoku.mext.go.jp/</a> を視聴してくる。 (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6	・道徳の授業の難しさ(オンデマンド)：道徳の授業の難しさをまとめる。 ・道徳における評価の在り方・難しさ(アンケート結果配信) ・子供の評価方法について理解する。	・講義(オンデマンド)：実際の評価方法を理解する。 ・ワークシート(classroomドキュメント)：アンケート結果から見えてきた道徳の授業の難しさを各自ワークにまとめる。	・道徳の授業の難しさと評価の在り方について整理し、ワークシートに記述できる。	(予習)道徳科に求められる評価(文科省) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=1Gw696-Zeq4">https://www.youtube.com/watch?v=1Gw696-Zeq4</a> を視聴してくる。 (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
7	・授業分析の方法(教員による師範授業) 子供理解と授業分析の方法を知る。 ・授業記録を読む 子供の発言予想と実際の反応のズレを読み取る。	・講義 ・ワークシート(classroomドキュメント)(教材：ヒキガエルとロバ)	・子供理解と授業分析の方法を整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。 ・指導案を期日までに提出できる。	(予習)子どもを理解するとはどういうことかまとめておく (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習しておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
8	・小学校の授業(VTR)を観察 小学校の道徳の授業を観察または視聴する。	・観察実習 積極的に授業を観察する。子供の発言の意味を瞬時に聞き取る。(傾聴力)	・観察(視聴)記録を期日までに提出できる。	(予習)授業観察の視点をまとめておく (復習)観察または視聴記録を期日までにまとめる	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・観察実習報告会 各自のレポート (classroomドキュメント)内容を基に報告する。 ・模擬授業の指導案の修正 観察を通して学んだことを基に指導案を修正する。	・報告と質疑応答 分かりやすく報告する。(発信力) ・報告をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・報告することができる。	(予習)聞き手に分かりやすい報告に向けて準備しておく。 (復習)観察または視聴記録を期日までにまとめる	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・道徳の授業作りの実際 1 指導案の書き方と発言 予想の方法を理解する。 ・模擬授業の指導案作成 1 持参した教材を基に、 模擬授業に向けた指導案 (略案)を作成する。	・講義、ワークシート (classroomドキュメント) 教材:風に立つライオン ・指導案を作成し(創造力) ドキュメントで提出する。	・指導案を作成することができる。	(予習)実施してみたい道徳の教材を図書館等で選ぶ。 (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	・模擬授業の指導案作成 2 持参した教材を基に、 模擬授業に向けた指導案 (略案)を作成する。	・講義 ・指導案を作成する (classroomドキュメント)(創造力)	・指導案を作成し、期日までに提出できる。	(予習)指導案の修正をしてくる。 (復習)ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
12	・模擬授業 I 情報機器・教材を活用し、 子供の実態を踏まえた 模擬授業を行い、その 授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・ 学生双方向で行う) 分かりやすく発表する。 (発信力) ・授業をよく聞きとり、 的確な質疑応答を行う (傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行う ことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい 模擬授業に向けて準備を する (復習)模擬授業に使う 教材を修正する	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・模擬授業 2 情報機器・教材を活用し、 子供の実態を踏まえた 模擬授業を行い、その 授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・ 学生双方向で行う) 分かりやすく授業する。 (発信力) ・授業をよく聞きとり、 的確な質疑応答を行う (傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行う ことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい 模擬授業に向けて準備を する(復習)模擬授業に 使う教材を修正する)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・模擬授業 3 情報機器・教材を活用し、 子供の実態を踏まえた 模擬授業を行い、その 授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・ 学生双方向で行う) 分かりやすく授業する。 (発信力) ・授業をよく聞きとり、 的確な質疑応答を行う (傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行う ことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい 模擬授業に向けて準備を する (復習)模擬授業実施 後の反省をまとめておく。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・学修のまとめ 学修のまとめとして、 感想等をレポート (classroomドキュメント) 「学修を終えて」に まとめる。	・オンデマンドのレポート (classroomドキュメント) 教職に就きたいという 思いを表現する(実行力)。	・本時間内に最終レポート (classroomドキュメント) を提出できる。	(予習)14週の授業を 振り返っておく (復習)これまでに学 修してきたことを復習 しておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力